

## 平成19年度の水源地環境保全・再生施策について

- 水源地環境保全・再生に向けた取組みを推進するため、20年間の取組み全体を示す「かながわ水源地環境保全・再生施策大綱」と、最初の5年間に取り組む「かながわ水源地環境保全・再生実行5か年計画」に基づき、平成19年度から計画事業を推進する。
- 特に、「実行5か年計画」に位置づけた12の事業については、個人県民税の超過課税による財源を活用し、着実かつ効果的な推進を図る。

区 分	平成19年度予算額
I 森林の保全・再生	27億1,087万円
1 水源の森林づくり事業の推進	21億 904万円
2 丹沢大山の保全・再生対策	9,700万円
3 溪畔林整備事業	3,200万円
4 間伐材の搬出促進	6,840万円
5 地域水源地林整備の支援	4億 443万円
II 河川の保全・再生	2億4,720万円
6 河川・水路における自然浄化対策の推進	
III 地下水の保全・再生	1億6,150万円
7 地下水保全対策の推進	
IV 水源地環境への負荷軽減	3億4,300万円
8 県内ダム集水域における公共下水道整備の促進	3億 430万円
9 県内ダム集水域における合併処理浄化槽整備の促進	3,870万円
V 水源地環境保全・再生を支える取組み	6,492万円
10 相模川水系流域環境共同調査の実施	1,550万円
11 水環境モニタリング調査の実施	3,822万円
12 県民参加による新たな仕組みづくり	1,120万円
合 計	35億2,750万円

## I 森林の保全・再生

### 1 水源の森林づくり事業の推進

21億 904万円  
(一般会計計上分を含め34億4,143万円)

水源かん養機能など森林の持つ公益的機能を高めるため、水源の森林エリア内の私有林の公的管理・支援を推進する。(拡充分は水源環境・保全再生事業会計で計上し、既存分は一般会計で計上)

#### (1) 水源林確保事業費

7億8,583万円

水源の森林エリア内の私有林において、水源分収林、水源協定林及び買い入れを行い、整備対象森林を確保する。

- ・ 水源林確保面積 639ha (一般会計計上分を含め1,372ha)

#### (2) 水源林整備事業費

13億2,321万円

水源分収林、水源協定林及び買い入れにより確保した森林の管理・整備を行うとともに、協力協約を締結した森林整備への助成を行う。

- ・ 水源林整備面積 1,467ha (一般会計計上分を含め2,026ha)

### 2 丹沢大山の保全・再生対策

9,700万円

#### ○ 丹沢大山保全・再生対策事業費

土壌流出防止対策を実施するほか、ブナ林等の保全・再生のための研究、樹幹保護及び登山道整備などの県民協働の事業に取り組む。

- ・ 土壌流出防止対策 6.5ha
- ・ ブナ林等の調査研究
- ・ 協働事業のための測量調査

### 3 溪畔林整備事業

3,200万円

#### ○ 溪畔林整備事業費

水源上流の溪流両岸において、土砂流出防止や水質浄化、生物多様性の保全などの公益的機能を高度に発揮する森林整備を行う。

- ・ 森林現況調査

#### 4 間伐材の搬出促進

6,840万円

##### ○ 間伐材搬出促進事業費

森林資源の有効利用による森林整備を推進するため、間伐材の集材・搬出に対し支援する。

- ・ 間伐材搬出量 6,000m<sup>3</sup>

#### 5 地域水源林整備の支援

4億 443万円

地域の水源保全のため、市町村が行う水源林の確保・整備を支援するほか、高齢級の私有林人工林の間伐を促進する。

##### (1) 地域水源林整備

3億8,700万円

市町村が計画的に実施する私有林の確保・整備や、市町村有林等の整備への支援を行う。

- ・ 交付金による市町村支援  
市町村有林整備 54ha  
私有林確保 239ha  
私有林整備 204ha

##### (2) 高齢級間伐促進事業費

1,743万円

森林の持つ公益的機能の向上を図るため、地域水源林内において、36年生以上の高齢級間伐に対して助成する。

- ・ 高齢級間伐面積 100ha

## II 河川の保全・再生

#### 6 河川・水路における自然浄化対策の推進

2億4,720万円

##### ○ 河川・水路整備

市町村管理の河川・水路の良好な水源環境を形成するため、市町村が行う水辺環境の整備や直接浄化を支援する。

- ・ 交付金による市町村支援
  - ① 生態系に配慮した河川・水路等の整備 3箇所
  - ② 河川・水路等における直接浄化対策 3箇所

### Ⅲ 地下水の保全・再生

#### 7 地下水保全対策の推進

1億6,150万円

##### ○ 地下水保全対策

地下水を主要な水道水源としている市町村が主体的に取り組む地下水かん養対策や水質保全対策を支援する。

- ・ 交付金による市町村支援

計画策定、かん養対策、汚染対策、モニタリング

### Ⅳ 水源環境への負荷軽減

#### 8 県内ダム集水域における公共下水道整備の促進

3億 430万円

##### ○ 公共下水道整備

県内ダム集水域の生活排水処理率の向上のため、市町村の公共下水道整備を支援する。

- ・ 交付金による市町村支援

整備面積 28.6ha

#### 9 県内ダム集水域における合併処理浄化槽整備の促進

3,870万円

##### ○ 浄化槽整備

県内ダム集水域の生活排水処理率の向上のため、市町村の合併処理浄化槽整備促進を支援する。

- ・ 交付金による市町村支援

- ① 市町村設置型調査の実施
- ② 個人設置型への補助 20基

## V 水源環境保全・再生を支える取組み

### 10 相模川水系流域環境共同調査の実施

1,550万円

#### ○ 相模川水系環境共同調査費

山梨県側の相模川水系流域の私有林の状況や生活排水処理方法の実態などの調査を実施する。

- ・ 私有林人工林の現況調査
- ・ 生活排水処理方法実態調査

### 11 水環境モニタリング調査の実施

3,822万円

事業の実施効果を測定するため、森林、河川などのモニタリング調査を行うとともに、その結果等の情報提供を行う。

#### (1) 水源環境調査費

822万円

- ・ 河川の流域における動植物の調査等
- ・ 調査結果等の情報提供

#### (2) 森林環境調査費

3,000万円

- ・ 諸事業の水源かん養機能へ与える効果を把握するための調査

### 12 県民参加による新たな仕組みづくり

1,120万円

#### ○ 県民会議等運営費

水源環境保全・再生の取組みについて、広く県民の意見を反映させながら推進していくため、県民参加の仕組みを構築する。

- ・ 県民会議、県民フォーラム等の運営
- ・ 県民に対する施策の情報提供